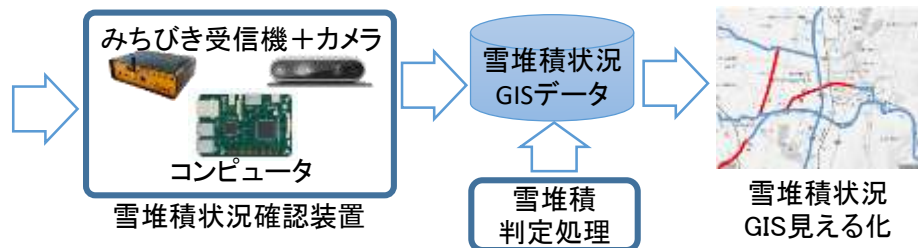


No.1 高精度位置情報を利用した排雪業務の高度化および実用化実証

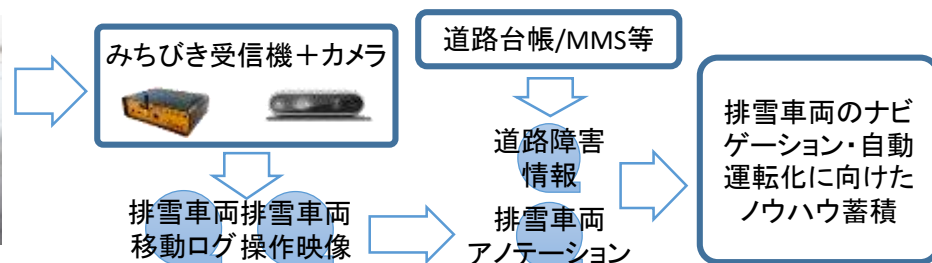
- 市街地での排雪作業は時間とコストが掛かり、生活道路のきめ細やかな排雪が出来ず、また、高齢化による担い手が減少するなど、市民生活の大きな課題となっている。
- 雪国よこて排雪作業軽減対策コンソーシアム(秋田県横手市)では、「みちびき」の高精度測位情報を横手市内の雪の堆積状況と家屋入口等の情報などと組合せて数値化することで、目測では出せない正確な情報の見える化を図り、排雪作業プランの最適化を行うための実証実験を実施
- また、排雪車両の位置情報と道路障害情報を組合せ、排雪車両のナビゲーション及び自動運転化に向けた検討も実施。

【雪の堆積状況把握】



【効果】 雪の堆積状況を、人の判断によらない方法で、高精度な位置を伴ってデータ化する事で、市内の雪の堆積状況が見える化し、出入口が閉ざされそうな場所などの特定を行うことにより、緊急度の高い場所から排雪処理を行う計画を検討できる。

【排雪車両の自動運転化に向けた挙動学習】



【効果】 排雪車両の運転においては、道路ごとの特徴を把握し、高度な操作技能を必要とする。排雪車両の場所毎の操作状況と、道路障害情報を組み合わせることで、排雪ノウハウを蓄積し、ナビゲーション機能・自動運転化の実用化を検討する。